



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 近鉄百貨店

コード番号 8244 URL <http://www.d-kintetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 高松 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員

(氏名) 福田 正男

TEL 06-6655-7030

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	195,189	△4.4	380	△63.4	△95	—	△643	—
27年2月期第3四半期	204,214	3.3	1,039	—	36	—	△679	—

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 △117百万円 (—%) 27年2月期第3四半期 △211百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	△1.59	—
27年2月期第3四半期	△1.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	142,025	27,831	19.6
27年2月期	141,161	28,218	19.9

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 27,831百万円 27年2月期 28,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	271,000	△3.2	2,800	△27.3	2,000	△24.1	900	—	2.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	404,379,406 株	27年2月期	404,379,406 株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	590,848 株	27年2月期	589,185 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	403,789,417 株	27年2月期3Q	403,777,449 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
平成27年度第3四半期 決算補足資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年3月1日～平成27年11月30日)のわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調をたどる一方、中国経済の減速をはじめとする海外景気の下振れが懸念されるなど、先行き不透明な状況のうちに推移いたしました。

百貨店業界におきましては、昨年3月はその前年の消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動により減収となりましたが、4月以降は訪日外国人の買物需要の増大に加え、都市部を中心に高額品の販売が好調に推移したこともあり、気温が平年より高かった11月を除いて増収となりました。

このような状況の下、当社グループでは、昨年4月に策定いたしました「中期経営計画(2015年度～2017年度)」に基づき、あべのハルカス近鉄本店のさらなる改善、地域中核店のリ・モデル、新たな収益源の開発に向けた諸施策を推し進めるなど、各事業にわたり収益力の向上に懸命の努力を傾けました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①百貨店業

百貨店業におきましては、グランドオープン2年目を迎えたあべのハルカス近鉄本店においては、ウイング館3.5階に訪日外国人向け専用サロン「フォーリンカスタマーズサロン」を新設するなど、インバウンド需要の取り込みに注力いたしました。また、食料品売場に集客力の高いショップを導入し収益力の向上を図る一方、惣菜売場の視認性を高めるための改装を実施し売場環境の改善に努めました。さらに、ヤングレディス専門店街「solaha(ソラハ)」に大型テナントを導入するなど、各階において新規ブランドの導入やショップの改廃を推進いたしました。

地域中核店におきましては、地域一番店としての地位をさらに高めるべく、奈良店において1階アクセサリ売場の改装を、四日市店において春と秋の2期に分けて婦人服、婦人洋品及び紳士洋品売場を中心とする改装をそれぞれ実施いたしました。

販売促進の面では、お客様の利便性の向上を図るため、各店の食料品売場において電子マネーによる決済サービスを導入したほか、包装紙のデザインを変更いたしました。

さらに、将来の新たな収益源の開発に向けた取り組みとして、昨年10月にコンビニエンスストア事業のフランチャイズ形態直営事業化第一号店となる「ファミリーマート天王寺公園エントランス店」を天王寺公園「てんしば」エリアにオープンいたしました。

しかしながら、これらの諸施策を鋭意実施しましたが、前期に実施した桃山店の営業終了に加え、あべのハルカス近鉄本店のグランドオープンの効果が一巡したことなどもあり、売上高は180,081百万円(前年同期比4.8%減)、営業損失は265百万円(前年同期は409百万円の営業利益)となりました。

②卸・小売業

卸・小売業におきましては、株式会社ジャパンフーズクリエイトの鮮魚販売及び株式会社シュテルン近鉄の輸入新車の販売が好調に推移いたしましたため、売上高は9,745百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益は272百万円(同32.1%増)となりました。

③その他事業

その他事業におきましては、株式会社近創の大工工事受注の減少により、売上高は5,362百万円(前年同期比15.0%減)、営業利益は308百万円(同3.4%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は195,189百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益は380百万円(同63.4%減)、経常損失は95百万円(前年同期は36百万円の経常利益)となりました。これに工事負担金等受入額など302百万円を特別利益に、減損損失など529百万円を特別損失にそれぞれ計上し、法人税等を減じた結果、四半期純損失は643百万円(前年同期は679百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ863百万円増加し142,025百万円となりました。負債は、買掛金や預り金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1,251百万円増加し114,194百万円となりました。純資産は、四半期純損失の計上などにより、前連結会計年度末に比べ387百万円減少し27,831百万円となりました。この結果、自己資本比率は19.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年10月13日に公表した予想数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等が平成26年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等（ただし、連結会計基準第39項に掲げられた定めを除く。）を早期適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58項－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が99百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,995	3,213
受取手形及び売掛金	9,587	13,224
商品及び製品	10,212	11,473
仕掛品	297	482
原材料及び貯蔵品	30	34
その他	6,483	6,137
貸倒引当金	△162	△36
流動資産合計	30,444	34,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,836	51,641
土地	29,604	29,607
その他（純額）	3,806	3,572
有形固定資産合計	87,247	84,821
無形固定資産	1,724	1,583
投資その他の資産		
投資有価証券	5,912	5,568
敷金及び保証金	11,137	10,822
退職給付に係る資産	2,575	2,828
その他	2,719	2,470
貸倒引当金	△599	△599
投資その他の資産合計	21,744	21,090
固定資産合計	110,717	107,495
資産合計	141,161	142,025

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,829	23,896
短期借入金	26,712	16,279
未払法人税等	355	197
商品券	9,756	9,808
預り金	27,977	28,964
賞与引当金	76	91
商品券等引換損失引当金	5,503	5,343
資産除去債務	—	360
その他	7,091	8,065
流動負債合計	99,301	93,006
固定負債		
長期借入金	7,616	15,488
退職給付に係る負債	380	411
資産除去債務	209	212
その他	5,434	5,075
固定負債合計	13,641	21,187
負債合計	112,943	114,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	9,090	8,990
利益剰余金	2,580	1,937
自己株式	△79	△80
株主資本合計	26,591	25,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,197	1,496
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整累計額	283	486
その他の包括利益累計額合計	1,480	1,983
少数株主持分	146	—
純資産合計	28,218	27,831
負債純資産合計	141,161	142,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	204,214	195,189
売上原価	154,650	148,893
売上総利益	49,563	46,295
販売費及び一般管理費	48,523	45,914
営業利益	1,039	380
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	50	55
未請求債務整理益	741	708
その他	454	327
営業外収益合計	1,253	1,095
営業外費用		
支払利息	281	236
商品券等引換損失引当金繰入額	1,104	767
持分法による投資損失	359	—
その他	510	567
営業外費用合計	2,255	1,571
経常利益又は経常損失(△)	36	△95
特別利益		
工事負担金等受入額	—	199
親会社株式売却益	—	103
特別利益合計	—	302
特別損失		
減損損失	—	430
支払補償費	—	67
固定資産除却損等	145	19
関係会社整理損	—	12
投資有価証券評価損	19	—
特別損失合計	165	529
税金等調整前四半期純損失(△)	△128	△321
法人税、住民税及び事業税	253	261
法人税等調整額	247	37
法人税等合計	500	298
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△628	△620
少数株主利益	50	22
四半期純損失(△)	△679	△643

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△628	△620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	416	299
繰延ヘッジ損益	—	△0
退職給付に係る調整額	—	203
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	416	502
四半期包括利益	△211	△117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△262	△140
少数株主に係る四半期包括利益	51	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	その他事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	180,081	9,745	5,362	195,189	—	195,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	102	2,485	4,031	6,618	△6,618	—
計	180,184	12,230	9,393	201,807	△6,618	195,189
セグメント利益又は損失(△)	△265	272	308	315	65	380

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成27年度第3四半期 決算補足資料

個別決算関係

1. 個別決算の概要

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比
売上高	180,180	△ 4.7%
営業損失(△)	△ 189	—
経常損失(△)	△ 713	—
四半期純損失(△)	△ 968	—

2. 店別売上高

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	73,854	△ 2.3%
上本町店	17,959	△ 3.8%
東大阪店	2,587	△ 3.3%
奈良店	18,221	△ 3.7%
橿原店	13,028	△ 4.1%
生駒店	6,969	△ 1.7%
和歌山店	15,848	△ 0.5%
桃山店	—	△ 100.0%
草津店	8,536	△ 2.1%
四日市店	15,649	△ 3.3%
名古屋店 (近鉄パッセ)	7,524	△ 1.0%
合計	180,180	△ 4.7%
(桃山店を除く)	180,180	△ 2.6%

(注) 桃山店は平成26年9月30日をもって、営業を終了いたしました。

3. 商品別売上高

(単位：百万円)

		当第3四半期累計期間		
		金額	前年同期比	前年同期比 (桃山店除く)
衣料品	紳士服・洋品	7,162	△ 5.4%	△ 4.5%
	婦人服・洋品	35,863	△ 7.4%	△ 5.1%
	子供服	3,625	△ 3.5%	△ 2.8%
	その他衣料品	6,709	△ 8.4%	△ 8.3%
	計	53,361	△ 7.0%	△ 5.3%
身回品		17,920	△ 3.2%	△ 2.4%
家庭用品	家具	2,051	△ 2.0%	△ 2.0%
	家庭電器	186	△ 18.3%	△ 18.3%
	その他家庭用品	4,433	△ 7.4%	△ 5.1%
	計	6,671	△ 6.1%	△ 4.6%
食料品		59,212	△ 4.9%	△ 1.9%
食堂喫茶		3,910	△ 4.8%	△ 4.8%
雑貨	雑貨	20,501	△ 2.5%	0.6%
	薬品化粧品	9,533	8.8%	8.9%
	計	30,034	0.8%	3.1%
サービス		1,071	5.4%	5.4%
その他		7,997	△ 10.5%	△ 7.4%
合計		180,180	△ 4.7%	△ 2.6%